

<第4議案>

2012年度収支予算(案)

15ページの2012年度収支予算書をもって、2012年度収支予算とする。

<説明>

2012年度収支予算のポイントは以下の通りである。

※ 以下、増減は、2011年度決算額との比較

2012年度は、常勤スタッフ2人体制を前提に、調査委託の新規開拓などに努めるが、単年度収支差額15万円の赤字を見込む。2011年度からの繰越金約300万円は、2012年度末には285万円となる。

なお、宜野湾市からの調査委託事業は2011年度も継続しているが(2011年8月～2012年3月)、会計年度のずれから生じる複雑さを避けるために別会計扱いとしており、予算案に含めていない。

年会費増をはじめ、ここにあげられた会費収入、事業収入、寄付金収入はすべて意欲的な見積みであり、収入増、経費削減における相当の努力が必要である。

1. 会費収入について

会費収入全体は約34万円の収入増を見込んでいる。これは、2011年決算において年会費の回収率が約90%あったことを勘案し、会費督促ならびに新規会員・購読者獲得努力によって増額を見込むものである。会員・購読者数の正味増は賛助会員相当で30口と見積みっており、予想される退会者、購読中止者の数を勘案すると、目標達成のためには、新規会員・購読者70名程度を獲得しなければならない。会員一人一人に新規会員・購読者の獲得にご協力いただくことを前提としつつ、メリハリのある努力を継続する。

2. 事業収支について

事業収入は約20万円の減、支出は約46万円の増を見込む。

- ・イアブックでは、「2012年版」作成により収支黒字35万円(収入175万円、支出140万円)を見込む。
- ・ブックレット作成により収支黒字10万円(収入40万円、支出30万円)を見込む。
- ・調査受託費として150万円を見込む。
- ・前年からの奨励研究員を3月まで継続し15万円の支出を見込む。

3. 助成金収入について

新規に50万円の助成金収入を見込む。

4. 管理費について

・給料手当は、1～3月は、常勤スタッフ1人と非常勤2人体制で、4月から常勤スタッフ2人体制を予定する。常勤スタッフ2人体制と比べ約60万円の減。

・なお宜野湾市からの調査委託事業は2011年度も継続しているが(2011年8月から2012年3月)、会計年度のずれから生じる複雑さを避けるために別会計扱いとしており、予算案に含めていない。同じく別会計扱いとして「将来計画資金会計」から30万円の支出を見込む。